

特定外来生物

ハナガメ

爬虫綱 カメ目 イシガメ科 *Mauremys sinensis*

生態系被害防止
外来種リストの区分

その他の定着予防外来種

日本の侵略的外来種ワースト 100

世界の侵略的外来種ワースト 100

注: 本県では、「ハナガメとニホンイシガメの交雑種 (*M. sinensis* × *M. japonica*)」及び「ハナガメとクサガメの交雑種 (*M. sinensis* × *M. reevesii*)」(いずれも特定外来生物に指定)も確認されているが、本書では「ハナガメ」に含め1種として扱った。

哺乳類

鳥類

は虫類

両生類

魚類

昆虫類

甲殻類

クモ類

貝類

植物

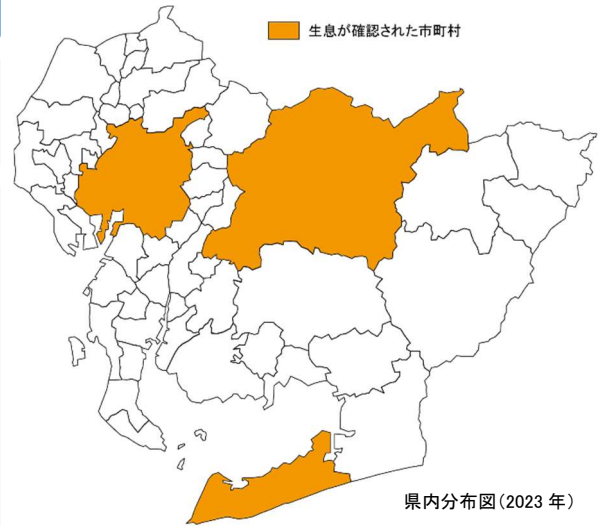
基礎情報

原産地

- ・台湾、中国南部、ベトナム北部

現在の分布

- ・ペットとして世界中に出荷されており、世界各地で野生化している。
- ・国内では東京都や大阪府をはじめ、各地で逸出個体が確認されている。
- ・県内では名古屋市、豊田市、田原市で捕獲事例がある。



侵入の経緯

- ・日本へは主にペットとして輸入・販売されてきた。飼いきれなくなった個体が野外(おもに都市近郊の池や堀、河川など)に遺棄されたり、飼育されていた個体が逃げ出したりして野生化している。

形態

- ・背甲長はオスで最大 20 cm、メスで最大 27cm。メスの方がオスよりもずっと大きくなる。
- ・側頭部から首にかけて黒色と黄色の細いストライプ模様が入る。頭頂部は帽子をかぶったように黒い。
- ・背中側の甲羅は緩やかなドーム状に盛り上がり、後部はギザギザにならない。左右 12 枚の縁甲板の腹側に暗褐色の丸い模様が並ぶ。
- ・幼体には背中側の甲羅に 3 本の隆起があるが、成長とともに左右の 2 本は目立たなくなる。



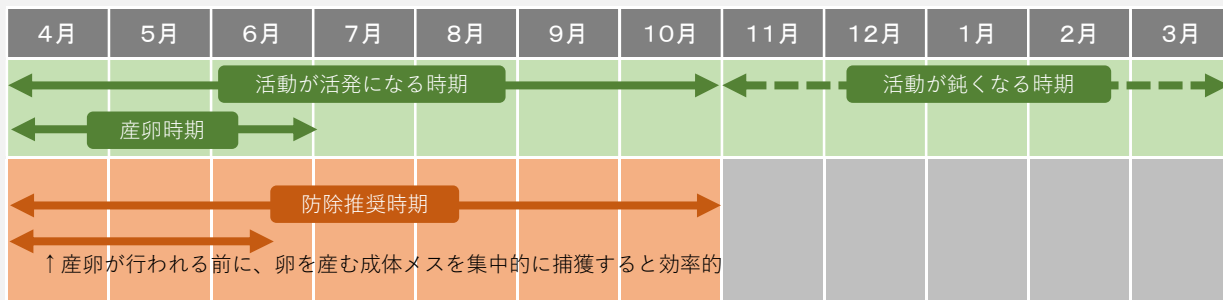
生息環境

・平野の河川・池沼・水路などの水域に生息する。

生態・ライフサイクル



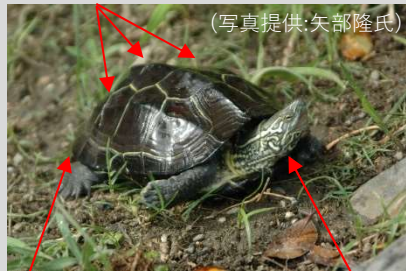



- ・日本の他のカメと同様に雑食性で半水棲のカメ。植物食傾向だが、魚類、甲殻類、貝類、水生昆虫なども食べる。
- ・日光浴を好み、岸辺の土や岩、人工構造物の上で甲羅干しをする。
- ・産卵時期については、4～6月に産卵したという報告がある。

【ライフサイクル・防除推奨時期】



類似種との識別ポイント

・類似種として、ニホンイシガメ、クサガメ、ミシシippアカミミガメ(条件付特定外来生物)がいる。

ニホンイシガメ (在来種)	クサガメ (外来種の可能性あり)	アカミミガメ (条件付特定外来生物)
<p>②黄土色 (写真提供:矢部隆氏)</p>  <p>③ギザギザ ①黄土色</p>  <p>④真っ黒</p> <p>①顔は黄土色。 ②背中側の甲羅(背甲)は黄土色。 ③背甲の後部はギザギザになる。 ④腹側の甲羅(腹甲)は真っ黒。</p>	<p>②3本の隆起 (写真提供:矢部隆氏)</p>  <p>③ギザギザなし ①黄色の線</p>  <p>④白い線</p> <p>①横顔から首にかけて黄色の線が入る。 ②背甲に3本の隆起があり、体が黒い。 ③背甲の後部はギザギザにならない。 ④腹甲には白い線が入る。</p>	<p>②深緑色で黄と黒の縞模様 (写真提供:矢部隆氏)</p>  <p>①鮮やかな朱色の斑紋 ③ややギザギザ</p>  <p>④黄色で褐色斑</p> <p>①耳の上に鮮やかな朱色の斑紋があり、喉に黄色の縦縞模様が入る。 ②背甲は深緑色を基本として黄色と黒色の縞模様が入る。 ③背甲の後部はややギザギザになる。 ④腹甲は黄色で褐色斑が並ぶ。</p>

・本県では、ニホンイシガメ、クサガメとの交雑個体(いずれも特定外来生物に指定)が確認されている。
 ・ハナガメとニホンイシガメの交雑個体では、側頭部から首にかけてのストライプ模様が太く、線の数が少なくなる傾向がある。ハナガメとクサガメの交雑個体は、側頭部から首にかけてのストライプ模様が粗くなる傾向がある。

- 哺乳類
- 鳥類
- は虫類
- 両生類
- 魚類
- 昆虫類
- 甲殻類
- クモ類
- 貝類
- 植物

影響・被害

- ・同じイシガメ科のニホンイシガメ(在来種)やクサガメと交雑し、繁殖能力のある子孫を作って遺伝子汚染を引き起こす。2009年に県内の名古屋市昭和区の隼人池で2頭のハナガメとニホンイシガメの交雑個体、6頭のハナガメとクサガメの交雑個体が確認された。これらの交雑個体は繁殖能力を持つと考えられ、在来種に対する遺伝子汚染が危惧される。
- ・雑食性のため、捕食により魚類、甲殻類、水生昆虫、水草等、様々な生物に被害を及ぼす。
- ・エサのほか、日光浴・産卵・越冬の場所を奪うことにより、在来種のニホンイシガメ等を駆逐してしまうおそれがある。

生息・被害の確認方法

- ・水際を踏査し、岸辺で日光浴をしている個体や水面に浮かんでいる個体を目視確認する。人が接近すると素早く水中に潜って逃げるため、双眼鏡等を併用するとよい。
- ・既存の研究調査に関する文献や目撃情報をインターネットや図書館で探す。
- ・地域の住民や農業従事者、専門家などを対象に聞き取りやアンケート調査を行う。



水面に浮かぶカメ（写真はアカミミガメ）

防除方法

- ・飼育個体が野外に放されないよう周知を徹底する。
- ・野生化したハナガメ、あるいはハナガメとの交雑個体を発見した場合は、ワナなどを使って捕獲する。
- ・県内での確認事例はアカミミガメに比べれば非常に少なく、アカミミガメの防除活動(ワナによる捕獲)や池干しの際に捕獲・確認される可能性が高い。



外来種駆除を目的とした池干し

推奨時期

- ・水温が上がり活動が活発になる4～10月の防除が推奨される(水温が低い冬はほとんど活動しなくなる)。
- ・産卵が行われる前(春～初夏)に実施すると、卵を産む成体メスを集中的に捕獲できるため、効率的に減らすことができる。


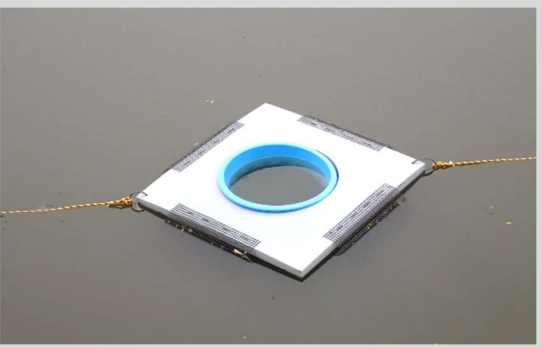
具体的な防除方法

- ・動きが素早いため、たも網等での捕獲は困難である。
- ・かごワナ、日光浴ワナ(浮島式ワナ)等により捕獲するとよい。在来のカメも捕獲(混獲)されるため注意を要する。
- ・捕獲した個体は殺処理する。殺処理の方法として、冷凍庫での冷凍処理(マイナス20度以下で48時間以上保管)が多く選択されている。
- ・殺処理後の最終処理は、一般廃棄物として廃棄(各自治体の基準に従う)、堆肥化などがある。



冷凍庫での冷凍処理

【ワナの種類】

種類	かごワナ	日光浴ワナ(浮島式ワナ)
形状		
概要	エサで誘引。設置・カメの回収は容易。活動が活発な時期(春～秋)に適している。	日光浴する行動習性を利用。カメの回収は容易。長期間の設置が可能。
設置場所	ため池・池沼・流れのゆるい河川	ため池・池沼(流れのないところ)
設置期間	前日に設置し、翌日確認する。 エサ(魚のアラなど)の交換が毎日必要。	1～4週間に1回程度点検する。 エサは不要。
設置・回収の方法	エサ(魚のアラなど)の中に入れ、カメを誘引する。ロープ等で岸に固定する。水に入らなくても1人で設置・回収が可能。	岸近くであれば水に入らなくても設置・回収が可能。ロープを渡せば岸から離れた場所や深い場所でも設置可。
費用	5,000～15,000円程度 受注生産の場合が多い。	写真は軽量型の市販品の例。 材料費20,000円程度で自作も可能。
留意事項	カメが溺れないよう、完全に水没させないように設置する。空のペットボトル等を浮きの代わりにかごワナ内に入れてもよい。	近くに日光浴に適した場所がある場合は、捕獲効率が落ちることがある。場所を変えてよく捕獲できる場所を探すとよい。

- 哺乳類
- 鳥類
- は虫類
- 両生類
- 魚類
- 昆虫類
- 甲殻類
- クモ類
- 貝類
- 植物

作業上の注意点等

- ・防除作業を行う前に、対象地の所有者・管理者の承諾を得る。必要に応じて、地域住民にも防除の目的や活動内容を周知する。
- ・生きたまま保管・運搬等することは原則禁止されているため要注意(行う場合は手続等が必要)である。
- ・捕獲したカメを扱う時には保護手袋(軍手等)を着用する。ツメにも注意が必要である。
- ・カメなどの爬虫類を触った後は必ず石けんなどを使って十分に手洗いする。
- ・捕獲したカメは日陰などなるべく涼しい場所に置く。
- ・夏に作業を行う場合は、熱中症予防に対する配慮が必要となる。



地域住民との協働による外来カメ捕獲活動

必要な法令上の手続き等

- ・愛知県漁業調整規則に基づく特別採捕許可(漁法や漁具により必要となる場合がある)

出典・参考資料

- ・侵入生物データベース > 日本の外来生物 > 爬虫類アラートリスト > ハナガメ(国立研究開発法人 国立環境研究所)
<https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/30340.html>
- ・特定外来生物同定マニュアル 爬虫類(環境省 自然環境局) https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/manual/3hp_hachurui.pdf
- ・ハナガメ・タイワンハナガメを飼っていませんか?(環境省 自然環境局,2016)
- ・愛知県の外来種 プルーデータブックあいち 2021(愛知県,2021) p.56 ハナガメ(矢部隆)